



寒い日が続きます。いつも当園の運営についてご理解とご協力をくださりありがとうございます。つい先日、旧称「サラリーマン川柳コンクール」改め、「サラっ有一句!わたしの川柳コンクール」の優秀 100 句が発表されました。(主催:第一生命保険) やはり世相を反映してか、「新型コロナウイルス」に関連する句が多いようです。「オレオレと マスク外して 顔認証」「はずすのか はずさないのか 顎マスク」「飲み会で マスクはずして 知るお顔」「マスク取る あなたは誰と 点呼とる」等など、マスクを題材にした川柳が結構あります。

そう言えば、先日、政府が新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけを、2 類から 5 類に 5 月 8 日から引き下げることを決定しました。歓迎する人もいれば困惑する人々も。単純には言えない複雑な問題があると考えます。このマスクの着用に関しては、屋内外を問わず個人の判断に委ねることとされ、今後着用のあり方を見直す時期や着用が効果的な場面を周知するとしています。未就学児のマスクの着用については、蜜が避けられない保育現場の特性から、当園としてもこれまで 3 歳児以上のこどもたちにマスクの着用を進め、保護者の皆様方にもご理解とご協力をいただいてきましたが、今後、国や京都市から示される指針をもとに、マスク着用についてのあり方を改めて検討し、保護者の皆様方にお知らせいたしたいと思えます。

さて、私たち保育現場に勤める職員を震撼させたのが、今年の静岡県裾野市の私立さくら保育園での園児虐待のニュースでした。保育士 3 人が受け持っている 1 歳の園児らを倉庫に閉じ込めたり、足を持って宙づりにするだけでなく、15 もの不適切な保育が調査により判明するなど、社会に大きな衝撃を与えました。こどものことが大好きで、いつもこどものことを考え保育に従事する真面目な保育士にとってみれば、とても辛いニュースです。

しかし、決して他人事として終わらせるのではなく、今の保育を見つめ直し、さらに充実した保育を進めるきっかけにしてほしいと、当園では 1 月 14 日(土)に「不適切な保育の小さな芽を見逃さない」という思いで、全国保育士会作成の「保育所・認定こども園等における人権擁護のためのセルフチェックリスト～子どもを尊重する保育のために～」を活用した職員研修を実施しました。全国保育士会運営の動画サイトの視聴やチェックリストを基にしたグループ討議などを通して、不適切な保育につながる保育がないかどうかを改めて振り返る機会としました。園長として望みたいことは、「完璧な保育士などいない。そして、誰もが悩みや課題を持ちながら仕事をしている。何となく課題と感じていたことをより自覚的に見つめ直すことができれば、保育従事者として必ず前進できる。そして、こうした取組や決意を保護者の方々に伝えていく。」そんな思いを持っています。保護者の皆様方も、何か気になることがありましたら遠慮なくお伝えいただければ幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。

最後になりますが、季節性インフルエンザが大流行しています。また新型コロナウイルス感染症も軽症化しているとは言え、強い感染力を持っています。感染状況により、行事予定が大幅に変更せざるを得ないこともありますが、ご理解とご協力をお願いします。

< 行事予定 >

2/3(金) おべんとうの日	2/8(水) 幼児組 お誕生会
2/3(金)~4(土) き組 おとまり保育	2/17(金) あか組 保育参観
🌸 🌸 🌸 🌸 🌸 🌸 🌸	終了後 クラス懇談会及び組会